

●職場

No.	題名	所要時間	対象	テーマ	内容	企画制作	制作年度	字幕 副音 声
No.54	許すな「えせ同和行為」 ～あなたの会社を不当な 要求から守ろう～	36分	職場	えせ同和行 為	「えせ同和行為」とは、同和問題を口実にして、企業・個人や 官公署などに不当な利益や義務のないことを求める行為を指し ます。 「えせ同和行為をはじめとする不当要求行為」の主な事例をドラ マ形式で具体的に紹介し、その心構えと対策をわかり易く紹介 しています。 ドラマの主人公を「えせ同和行為対策」を任された中小企業の 従業員に設定しているの、こうした問題に関わったことのない 人でも、自分のこととして共感しながら見ていただけたと思い ます。	経済産業 省中小企 業庁・(公 財)人権 教育啓発 推進セン ター	R3	字幕 副音 声
No.55	お互いを活かし合うた めの人権シリーズ① 多様性入門	27分	職場	企業向け 人権研修 多様性	多様性とは、外国人、障害者、高齢者などの多様な価値を受 け入れることと認識されている。集団に属する全ての個人がそ れぞれに個性を持ち、それぞれの違いをお互い認め、活かし合 うことをテーマにした作品。身近で誰もが経験しうる事例を丁寧 に解説する。 1 外国人イノベーション 2 コミュニケーションの多様性 3 多様性尊重とは	東映(株)	H31	字幕 副音 声
No.56	企業活動に人権的視点 を② ～会社や地域の課題を 解決するために～	97分	職場	企業向け 人権研修 人権一般	企業活動で直面する人権課題に関する事例を映像化し、企 業における研修会等で活用することにより人権尊重意識の普及 高揚を図ることを目的とした作品。 1 ユニバーサルデザイン 2 ワーク・ライフ・バランス 3 外国人雇用 4 LGBTへの対応 5 地域社会への貢献(SDGsの実践)	法務省人 権擁護 局・(公 財)人権 教育啓発 推進セン ター	H30	字幕 副音 声
No.57	わからないから、確かめ 合う ～コミュニケーション～	29分	職場	企業向け 人権研修 人権一般	ハラスメントや差別的取扱いなど、多くの日本企業が直面する 可能性が高いテーマを中心に取り上げ、それらに共通する解決 策として、「コミュニケーション」を提示している作品。 1 言葉は相手のために (ハラスメント) 2 違うからこそわかりやすく(外国人) 3 本当を確かめ合う (障害者) 4 本人の気持ちに沿う (LGBT) 5 その人らしさを認める (働き方) 6 本当の出会いのために (同和地区)	東映(株)	H30	字幕 副音 声
No.58	企業と人権 ～職場から作る人権尊 重社会	40分	職場	企業向け 人権研修 人権一般	企業向けに実施する研修会等で活用しやすいように、ドラマ や取材、解説も交えて構成している。 1 企業にとって人権とは 2 ハラスメント(パワハラ・セクハラ) 3 LGBT(性的少数者)に対する差別・偏見 4 障害のある人に対する差別・偏見 5 外国人に対する差別・偏見 6 えせ同和行為	法務省人 権擁護 局・(公 財)人権 教育啓発 推進セン ター	H29	字幕 副音 声
No.59	人権啓発は 企業にどんな力をもたら すのか	25分	職場	企業向け 人権研修 人権一般	企業は社会にとって責任ある存在であるという立場が求めら れ、企業内での人権啓発の必要性が高まっている。人権の視 点を取り入れて仕事に関わっていくことが企業にどんな力をもた らすのか、事例をもとに考えることができる作品。 ①聴き合う、伝え合う(ハラスメント) ②その人自身が生きる職場のために(障害者・外国人) ③あらゆる性の活躍のために(LGBT) ④多様な働き方のために(ワーク・ライフ・バランス) ⑤フェアな会社であるために(公正な採用・同和問題)	東映(株)	H29	字幕 副音 声
No.60	新・人権入門	25分	職場	人権一般	このDVDでは企業の人権担当者から取材した、実際の出来事 を16のショートドラマとして構成。視聴者が今見たドラマには一 体どんな人権課題が含まれていたのか?もしくはいないのか? 自分がそのシーンに遭遇したらどうするのか?視聴者とドラマの 出演者が一緒に学び、悩み、考えることのできる教材です。 ・セクハラ・パワハラ・LGBT・ジェンダー・同和問題・外国人と働 く・障害者への配慮・多様性尊重トレーニング・自他尊重・女性 活躍推進・表現と人権など	東映(株)	H26	

No.	題名	所要時間	対象	テーマ	内容	企画制作	制作年度	字幕 副音声
No.61	自他尊重のコミュニケーションと職場の人権2 相手の立場で考える	23分	職場	コミュニケーションの大切さ	この教材では、職場で体験しがちな身近なエピソードを切り取り、それぞれの異なる立場の登場人物にスポットをあて、お互いを尊重するコミュニケーションの大切さを考えていきます。それぞれのエピソードでは、お互い悪意はないのにコミュニケーションの不全から職場環境が悪化する状況になります。自分も相手も大切にすることをコミュニケーションとはどんなものなのかを考えてみましょう。 ・「行為が重すぎるう！」 ・「理系って冷たい？」 ・「年上の部下、年下の上司」 ・「ワークライフバランス」	東映(株)	H25	字幕
No.62	心のケアと人権 職場編	22分	職場	メンタルヘルス	主人公の中堅サラリーマンが、配置転換後のストレスと仕事の過重により、ついにつうつ病となり…。上司や労務担当職による職場の改善方法や、カウンセラー・医師による具体的な職場での対応方法を含んだドラマとなっています。	東映(株)	H23	字幕
No.63	それぞれの立場 それぞれのきもち ～職場のダイバーシティと人権～	28分	職場	多様性 コミュニケーションの大切さ	近年、企業において「ダイバーシティ」が重要な経営戦略といわれている。そのダイバーシティが職場に浸透するためには、職場での良好なコミュニケーションや人権意識が欠かせない。ある営業部を舞台に展開されるドラマをとおして、そこに働く正社員・派遣社員・嘱託社員が、それぞれの立場ゆえにすれ違い、しかし相手の気持ちを考えることによってそれを乗り越えダイバーシティに近づいていく様子を描く。	東映(株)	H23	
No.64	あなたの職場は大丈夫？	46分	職場	ハラスメント えせ同和行為	「セクシュアル・ハラスメント」や「パワー・ハラスメント」、同和問題を口実に、企業等に不当な利益や義務のないことを要求する「えせ同和行為」は、見過ごすことのできない人権問題です。このDVDでは上記3つのテーマをドラマにし、一人ひとりが人権問題に向き合い、人権について考えていくことを目的に制作しています。	法務省人権擁護局・(公財)人権教育啓発推進センター	H22	字幕 副音声
No.65	今、地域社会と職場の人権は!	36分	職場	人権一般 高齢者 女性 ハラスメント 同和	「増え続ける高齢者の問題」「子育てする女性の問題」「パワハラ・セクハラ」「同和問題」に視点を置き、だれもが地域と職場で、自分の持っている能力や個性を發揮し、生きがいを持って働ける環境づくりの大切さを問いかけます。	共和教育映画社	H22	字幕
No.66	人権のヒント 職場編 気づきのためのエピソード集	22分	職場	企業向け 人権研修 人権一般	ごく普通の会社員の日常をドラマ形式で描きながら、日頃は気づかない「人権のヒント」を探っていきます。職場の中で私たちが考えるべき人権問題について喚起します。(男女の役割・セクハラ・パワハラ・自他尊重・障害者との共生・同和問題・ダイバーシティ)	東映(株)	H22	字幕
No.67	活かそう! 職場のダイバーシティ① (全社員編) 一人ひとりがいきいきと働くために	25分	職場 全社員	多様性 コミュニケーションの大切さ	近年、働く環境は、雇用や勤務の形態、性別や国籍、障がいの有無など従来以上に幅が広がっています。そのような多様性に富んだ環境で、周りの人々の力を活かしながら、自分自身もいきいきと力を發揮するためにはどうしたらよいか? 「多様な個性を活かすコミュニケーション」のあり方を事例を通して解説します。 ・違いを理解する「見える違い」「見えない違い」 ・雇用形態の違いによるコミュニケーションギャップ～契約社員のケース ・男性社員の育児休暇～主任のケース ・自分自身の固定観念～研究員のケース ・少数派の立場「Challengedチャレンジド」	自己啓発協会	H21	

No.	題名	所要時間	対象	テーマ	内容	企画制作	制作年度	字幕 副音声
No.68	活かそう！職場のダイバーシティ② (管理職編) 多様性を活かすリーダーになるために	25分	職場 管理職	多様性 コミュニケーション の大切さ	近年、働く環境は、雇用や勤務の形態、性別や国籍、障がいの有無など従来以上に幅が広がっています。そのような多様性に富んだ環境で、周りの人々の力を活かしながら、自分自身もいざいざと力を発揮するためにはどうしたらよいか？ダイバーシティの視点から、管理職に欠かせない「コミュニケーション」と「リーダーシップ」のあり方を解説します。 ・違いを理解する「見える違い」「見えない違い」 ・部下の育児休暇～課長のケース ・女性社員の単身赴任～主任のケース ・雇用形態の違いによるコミュニケーションギャップ～契約社員のケース ・管理職に求められるリーダーシップ	自己啓発 協会	H21	
No.69	ワークライフバランス	50分	職場	ワークライフ バランス	働き方や価値観の多様化がすすむなか、注目を集めるワークライフバランス。この作品では長時間残業や子育て、介護と仕事の両立にまつわる問題をドラマにし、ワークライフバランスを実現するための取り組みや心構えを解説する教材となっています。	日本経済 新聞 出 版社	H21	
No.70	メンタルヘルスと人権	30分	職場	メンタル ヘルス	メンタルヘルス(心の健康)ケアの重要性を気づかせるドラマ作品。生き活きと働ける職場づくりを実現するためのセルフケアと職場のラインケア、また家族の関わり方を考えます。	東映(株)	H21	字幕
No.71	私が私らしくあるために	26分	職場	コミュニ ケーション の大切さ	この作品では、「人権侵害」と呼ぶような「事件」が描かれているわけではありません。そこにあるのは何の変哲もない、いつでも、どこにでも見られる職場の日常の風景です。その中にあるちょっとしたコミュニケーションの失敗が仲間を傷つけてしまうことがある。見つめてみませんか、職場のコミュニケーション。あなたがあなたらしく、私が私らしくあるために。	東映(株)	H21	字幕
No.72	職場の人権 ～相手のきもちをかんがえる～	27分	職場	コミュニ ケーション の大切さ	社会相談室・新人相談員の社員が様々な職場で起こるトラブルや悩みに遭遇することによって、“相手のきもち”を考えるとどういふことなのかを理解していく過程をドラマ仕立てて描く。 職場で身近に起こり得るパワハラやセクハラ、コミュニケーション不足が原因のトラブルを描くことで、そこにある意識のズレと問題点を提示してゆく。	東映(株)	H20	